

第一基礎設計株式会社

大阪市淀川区三国本町1-5-36

TEL (06) 6396-0639

(06) 6396-0700 (マイコマ専用)

FAX (06) 6395-6900

URL <http://www.dlks.co.jp>

ダイイチ基礎ニュース

平成31年 第38号

謹んで新年のご祝詞を申し上げます。

旧年中は格別のご厚情を賜り、誠にありがとうございました。

本年も社員一同より一層の努力を致し、お客様にご満足して頂けるサービスに努めて参る所存でございます。

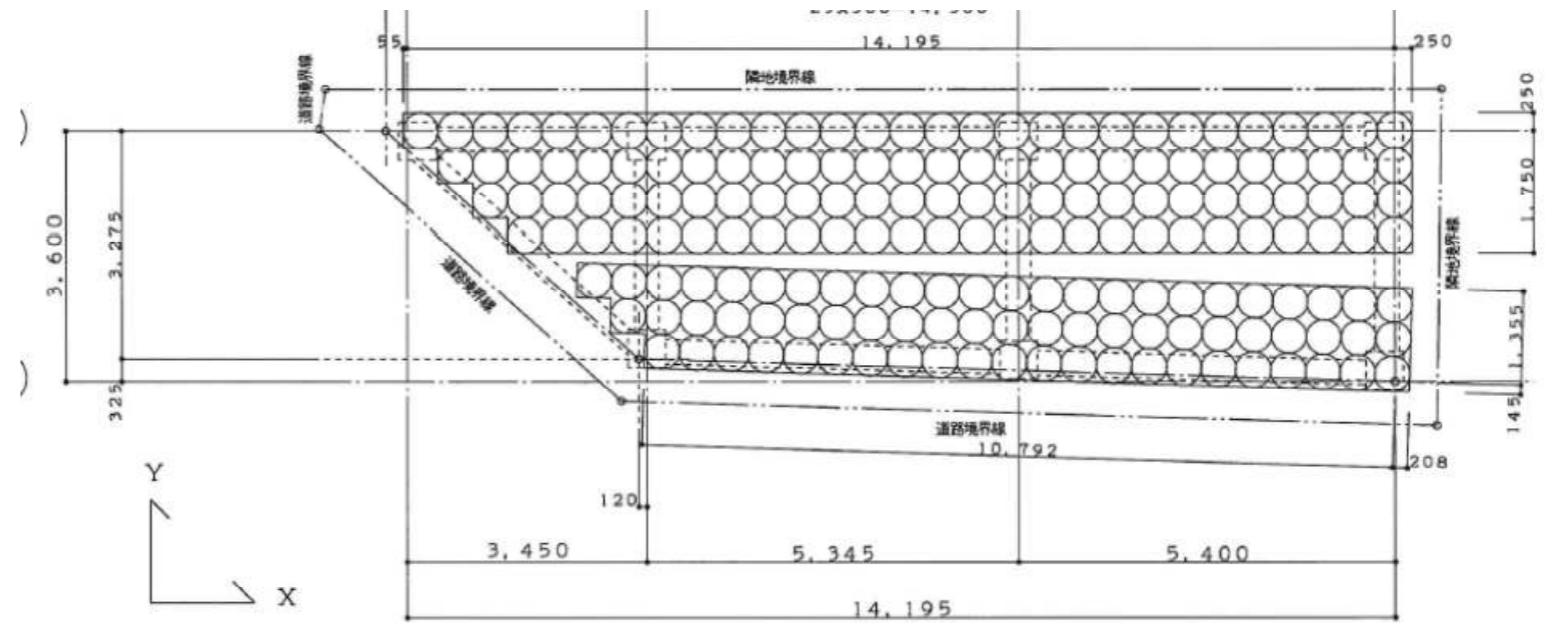
なにとぞ本年も変わらぬお引き立ての程よろしくお願い申し上げます。

皆様のご健勝とご発展をお祈り申し上げます。

さて、今回ご紹介する現場は昨年10月に施工したトップベース工法(マイコマ)です。

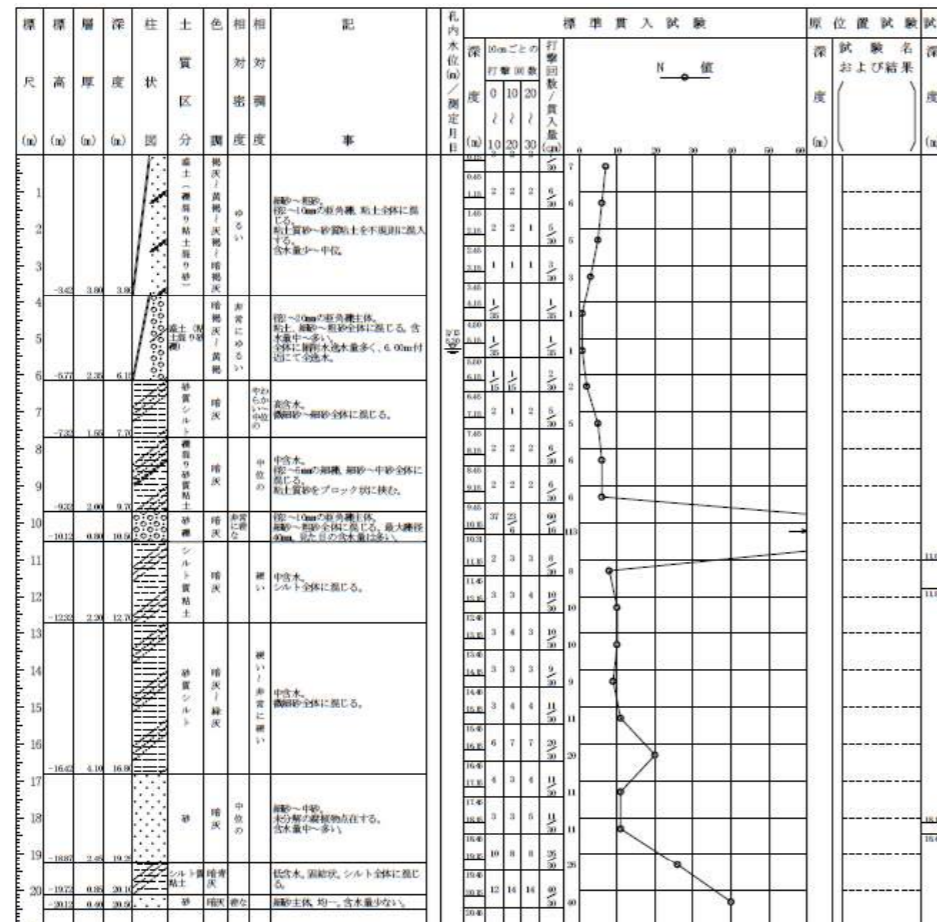
本現場は、10m付近まで軟弱層が続いており柱状改良でできないかとのご相談でした。現場状況を見るとプラントヤードなどのスペースもなく敷地内での施工が困難なため、鋼管杭とマイコマを提案させていただき、コストメリットでマイコマが採用となりました。

コマ伏せ図



一工事概要一	工事名称	○ 事務所新築工事
	工事場所	豊中市
	工事期間	3日
	建物規模	s造2F
	個数	179個 (φ500型 6連)

柱状図



現地写真



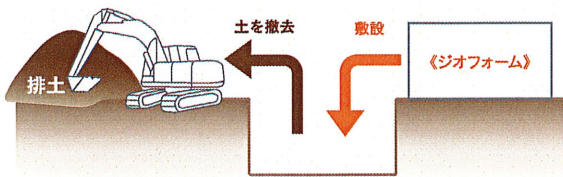
地盤置換工法 **コロンブス**®

地盤置換工法[コロンブス]
設計と施工

軟弱地盤の土を撤去し、ジオフォームを敷設。

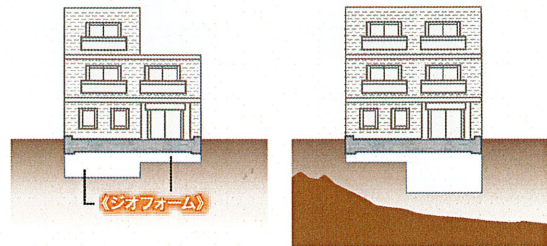
重い土と、軽量の《ジオフォーム》の比重差を利用して…。

地盤置換工法[コロンブス]の施工は、最初に、建物の重量から地盤の支持力を差し引いた分の土を撤去します。次に、撤去したあとのスペースに、工場で加工した《ジオフォーム》を敷設します。支持層が深ければ深いほどコスト面での有利さが増すのも、この工法ならではのメリットと言えます。



荷重の偏りや地盤のバランスを配慮して設計。

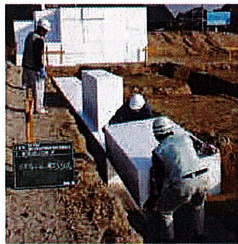
建物の荷重に偏りと、地盤の強弱による沈下量の違いを置換量で調整し、不同沈下を抑制します。(2種類の地盤調査を行います)



施工の流れ

敷設は、現場ごとに作成した割付図に従って行われます。

1 地中梁下ジオフォーム敷設



2 地中梁下調整コンクリート打設



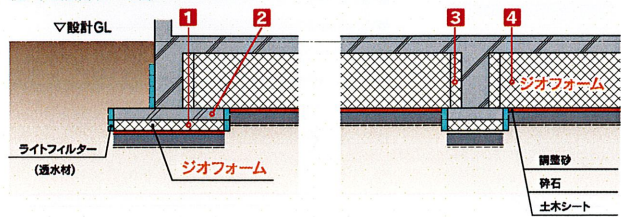
3 基礎型枠取り付け



4 スラブ下ジオフォーム敷設



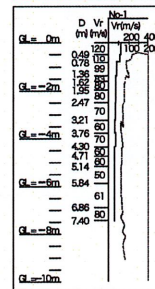
《逆ベタ式断面イメージ図》



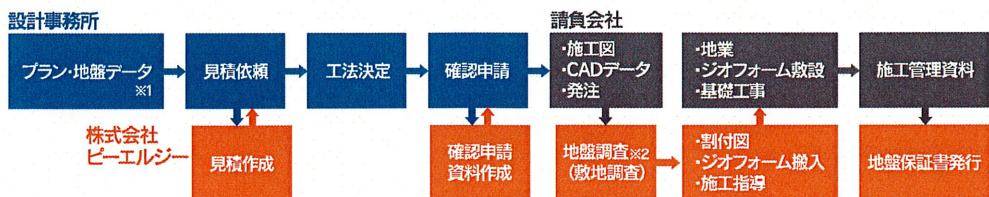
※1 地盤データ 標準貫入試験

深	土質区分	N値
0	0	0
10	0	10
20	0	20
30	0	30
40	0	40
50	0	50
60	0	60
70	0	70
80	0	80
90	0	90

※2 地盤調査 表面波探査試験



契約から完工までの流れ



※設計、施工、材料の瑕疵による不同沈下を10年間保証